

業種 (番号 記入)	6	1製造業 2建設業 3卸売業 4小売業 5飲食業 6サービス業 7その他	主な取扱 商品・製品等	接遇マナー研修						
資本金	200万円	年間 売上高	100万円	従業員 数	常時雇用 役員(法人)	0人 1人	パート 専従者	0人 0人	創業 年月 (西暦)	2016年 6月
指導日		主な指導項目								
6月29日(月)		新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた、直近の経営状況確認と利用できる制度の検討								
7月1日(水)		持続化給付金の申請手続きに関する具体的な相談								
7月3日(金)		前回に引き続き持続化給付金の申請手続き完了までの具体的な相談								
指導 分類 (番号 記入)	5	14	16	1経営全般 2創業 3事業承継 4事業計画 5資金 6法律・特許等 7税務 8労務 9販路・取引 10開発・技術 11 IT・情報化 12生産・品質管理 13店舗・不動産 14記帳 15倒産防止 16その他(持続化給付金などの新型コロナウイルス関連制度)						
相談 内容	持続化給付金の申請を行いたいが、売上台帳など添付書類の準備が必要なため、それらの準備も含めて相談したい。 なるべく手続きを急ぎたいので、早期の相談を希望。									
相談時 における 課題・ 問題点 等	<p>【第1回】 新型コロナウイルスの影響で収入が減少しており、持続化給付金の申請を行いたいため具体的な手続きの相談を希望。</p> <p>【第2回】 給付金申請に必要な帳簿書類等が整備できていなかったため、売上の根拠となる請求書類や預金通帳などを確認しながら売上帳簿の作成について相談対応。</p> <p>【第3回】 給付金申請に必要な税務申告書類などの添付書類を確認し、実際の給付金申請の完了と、入金までの手順や入金された給付金の会計処理などについて相談対応。</p>									

指導概要(指導日毎)

【第1回】

新型コロナウイルスの影響から受注していたマナー研修がキャンセルとなってしまう、売上の見込みが立たない状況となっている。持続化給付金の申請をしたいが、具体的な申請の手続きや添付が必要な帳簿書類の作成について相談したいため、本事業の専門家派遣を利用した。

今回は、前年対比での売上実績を確認し、持続化給付金申請の要件を満たしていることが確認できたため、実際の申請に向けた手続きと準備について対応した。給付金のオンライン申請フォームを実際に確認ながら、登録手順を説明しながらアカウントを作成。また、添付が必要な各種書類を具体的に説明した。

【第2回】

前回で給付金申請のアカウントが登録できたため、今回は申請フォームへの数値の入力と、その数値の根拠となる売上帳簿の整備について相談対応を行った。請求書や入金口座の通帳など、記帳に必要な資料を事前に準備いただき、今年度の売上減少月の帳簿書類を事業者が利用している会計ソフトへ入力して作成した。

帳簿書類の整備と申請フォームへの入力が完了したが、添付書類のうち前年度の税務申告書類を持参していなかったため、次回で準備して頂き、申請を完了させることとした。

【第3回】

前回に引き続き、持続化給付金の申請手続きの相談対応を行った。前回不足していた税務申告書類を準備いただき、申請書の所定の添付資料へ該当の書類を添付した。最終的な全体確認を行った後、申請を完了することができた。申請完了後から入金までの具体的なスケジュールを説明し、入金された給付金の会計上との取り扱いなどを説明し、全3回の支援を完了した。

今後の課題・専門家の意見、総括等

相談者は歯科医院向けに接客マナー研修を行っており、新型コロナウイルス感染症の影響により受注していた業務がキャンセル、今後の見通しも不明確な状況であった。

今後も事業を継続する意思があり、少しでも事業資金の工面をするために、持続化給付金の申請を行う事とした。

当座の資金確保はこうした給付金等を活用することでしのぐことができるが、根本的な需要回復ははまだ不明確な状況であり、再開したとしても感染症対応のために従来通りの形式で研修を実施できない可能性も高い。

こうした危機感については事業者も認識しており、ビジネスモデルの見直しも含めて今後の方針を検討していく必要性を確認し、必要に応じて引き続き支援をお願いしたいとのご意見を頂いた。